



横浜市泉区社会福祉協議会

# 区社協だより 泉 いずみ

## 泉ふれあいホームへ ようこそ！



いずみ布おもちゃぐるーぷ



音声訳ボランティアいずみ

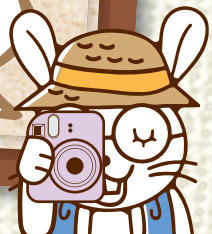


おもちゃの病院ドクトル・ベアーズ

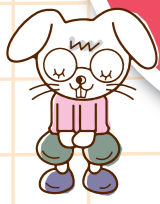


いずみ無料塾

泉ふれあいホームで活動している  
みなさんの様子をパシャリ！  
どんなことをしているのかな？  
中面で詳しくご紹介します！！



# 泉ふれあいホームへようこそ!



## 泉ふれあいホームって どんなところ?



区内で福祉保健に関する活動を行う団体などが、交流・打合せ・研修等の活動に利用できる施設です。正式には「横浜市泉区福祉保健活動拠点 泉ふれあいホーム」という名称で、泉区社会福祉協議会が泉区役所から委託を受けて運営しています。各部屋にはさまざまな設備があり、幅広い活動に対応できるようになっています。

## ご利用案内

- 開館時間 月～土 9:00～21:00(祝日・年末年始を除く)  
日・祝日 9:00～17:00
- 利用申込方法  
泉区社協へ電話もしくは来所にてご連絡ください。  
(受付時間 月～土 9:00～17:00)  
※新規利用を希望される団体はあらかじめ登録が必要です。

最新の予約状況は  
泉区社協ホームページからご覧  
いただけます!



## いずみ布おもちゃぐるーぷ



布おもちゃの貸し出し受け付けてます。

布おもちゃは、手作りの温かみがあり優しい気持ちで遊べるおもちゃです。私たちはぬくもりのある布おもちゃを手作りにして、地域の皆様に無料で貸し出しをしています。作品は大きなものから小さなものまで、約80点あります。

- こんな風にご利用しています!
- 場所 多目的研修室
  - 時間 第1木曜日(製作・貸出) 13:00～15:30  
第3木曜日(製作・貸出) 10:00～15:30

## 泉ふれあいホーム 館内MAP & 利用団体紹介

### 音声訳ボランティアいずみ

目の不自由な方や文字を読むことが困難な方のために、文字を音声にしてお届けする「音声訳」の活動をしています。生活情報や料理のレシピ、周辺ガイド等を掲載した録音雑誌を毎月作成しお送りします。利用されたい方、一緒に活動してみたい方、どちらもお気軽にお問合せください!



この区社協だよりの音声訳版も製作しています!

- こんな風にご利用しています!
- 場所 ①録音室、②団体交流室、③多目的研修室、④対面朗読室
  - 時間 ①随時(各自で録音作業)  
②月1回(録音雑誌等発送作業)  
③第1木曜日(企画会議など) 10:00～12:00

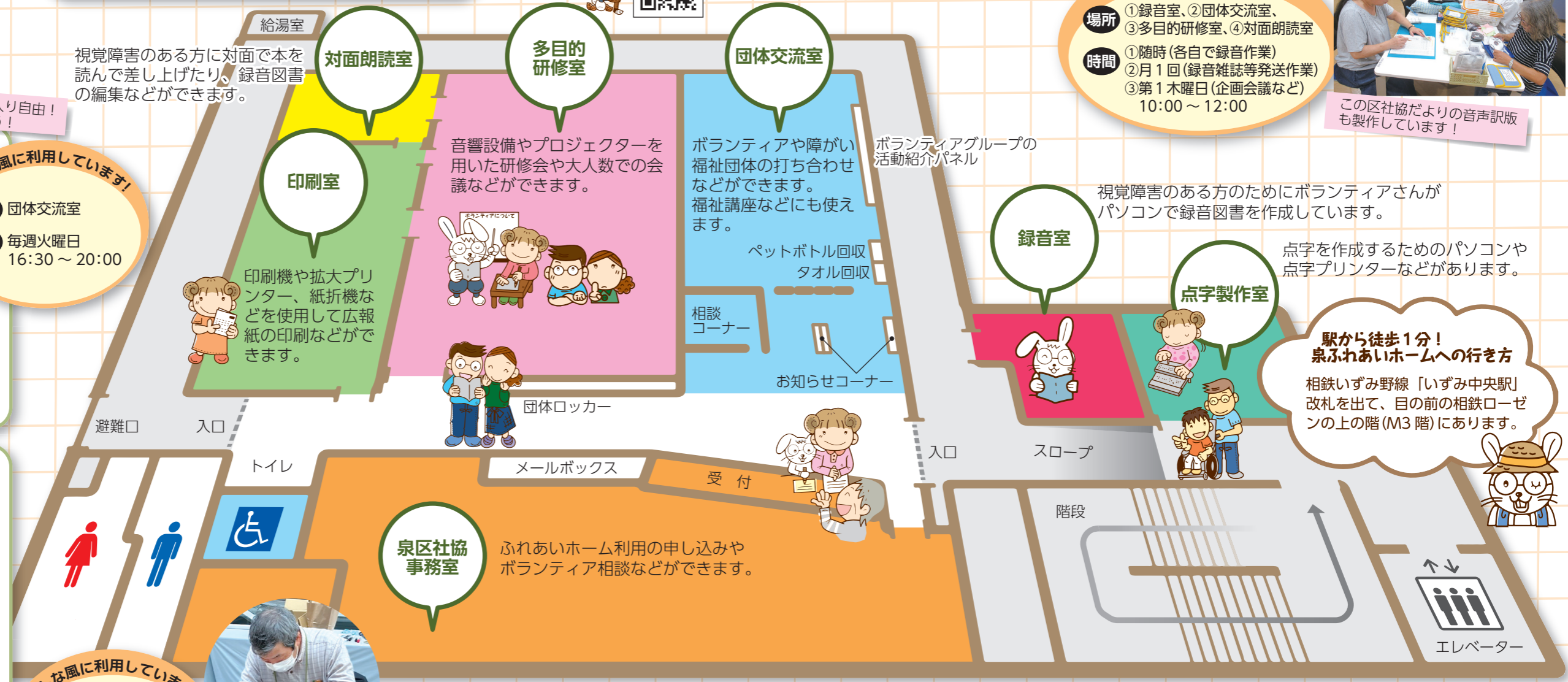


活動時間内は出入り自由!一緒に勉強しよう!

### いずみ無料塾

勉強に悩んでいる児童・生徒の放課後の居場所をつくるために学習支援の活動を始めました。勉強だけでなく、季節のイベントや遊びを通して大人や他年齢の子ともコミュニケーションをとれる機会もつくっていきたく考えています。

- こんな風にご利用しています!
- 場所 団体交流室
  - 時間 毎週火曜日 16:30～20:00



### おもちゃの病院 ドクトル・ベアーズ

個人やNPO団体等を対象に、ぜんまい式や電池モーターで動くおもちゃなどの修理を行っています。電気や機械に詳しいメンバーがおり高い確率で治ります。お気軽にご持参下さい。メンバー間では最新機器の情報交換や全体会議も行っています。

- こんな風にご利用しています!
- 場所 団体交流室
  - 時間 第2土曜日(修理など) 10:00～12:00

「捨てればゴミ・治せば宝物」がモットー!環境にやさしい活動です

### お部屋を利用する以外にも! 泉ふれあいホームはこんな場所です。

- 涼しい場所で休憩できる「クールシェアスポット」、赤ちゃん連れの方がおむつ替え等で利用できる「赤ちゃんの駅」です。
- 「よこはまウォーキングポイント」歩数計リーダーも設置しています。
- ペットボトルキャップや未使用タオル、インクカートリッジの回収を行っており、リサイクルや福祉施設へ寄付しています。





# 10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります



## ●赤い羽根共同募金運動とは (出典：中央共同募金会ホームページ)

共同募金は、毎年10月1日～翌年3月31日までの6か月間を募金期間として全国一斉に運動を展開します。

共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。



### 羽根はなぜ赤色の？

「赤い羽根」は、勇気と良い行いのシンボルだからです。アメリカの先住民は、いろいろな色の羽根がざりを頭などにつけていましたが、勇気のある行いや、良いことをした人が、「赤い羽根」をつけていたといわれています。

## ●まちの中での募金運動



飲料の販売価格そのまま、商品が購入されるたびに、一定額が赤い羽根共同募金に寄付される仕組みです。

泉区内では下和泉地域ケアプラザに設置されており、令和5年度の寄付額は12,114円となりました。

商品を買えば募金になる!?  
共同募金仕様の自動販売機が有ります

### 街頭募金・イベント募金

共同募金運動が始まる10月上旬に、駅などの街頭でPRを行っています。

また、祭りなどのイベントでも募金を呼び掛けています。



### 戸別募金

自治会・町内会を通じて各ご家庭にご依頼しています。

### 校内募金

区内の学校内でご協力いただきます。

### 法人募金・職域募金

区内の企業や社会福祉法人・NPO法人等にご依頼しています。

## ●こんなところも赤い羽根共同募金を応援しています



横浜市では毎年、野毛山動物園にいる動物が「赤い羽根共同募金PR大使」に就任しています。今年はホンダヌキの「ウタ」が13代目のPR大使に就任しました。



相鉄線沿線では、そうにゃんも一緒に共同募金運動を盛り上げてくれています。赤い羽根共同募金とのコラボ缶バッチもお楽しみに!

ご支援いただいた募金は、区内のボランティアグループや福祉施設への支援など、地域のために活用されています。

赤い羽根共同募金のつかいみちは **はねっと** にも掲載しています→



皆さまのご協力  
よろしくお願いいたします

### 赤い羽根共同募金は日本以外の国にもあるの？

「共同募金」は、世界の43の国などで行われていますが、シンボルとして「赤い羽根」を使っているのは日本だけです。英語では「コミュニティ・チェスト(Community Chest)」=「地域の貯金箱」といわれています。



編集後記  
秋も深まり、地域の拠点である「泉ふれあいホーム」での活動もますます活気づいています。今号では、幅広い世代が参加する多彩な福祉活動の様子をご紹介しました。地域の力を結集し、誰もが安心して暮らせる街づくりを目指して、これからも皆様とともに地域を支えていければ幸いです。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。 西村 敬一

「区社協だより泉87号」をご覧くださいありがとうございます。ご感想やご質問等ございましたら、お気軽にお寄せください。

